

♪どんな色がすき？

R8.6.9

歌に合わせて「♪どんな～いろ～がすき～？」と子どもたちに聞いていくと「あか」「みどり」「むらさき」などいろいろな色が出てきて、替え歌にしながら歌っています。散歩に出かけたときも「ピンクときいろを探そう！」などと色探しをしながら、色に触れて楽しんでいるところです。

～ジュース作り～

絵の具にもたくさん触れ、絵の具遊びも楽しんでいます。自分で好きな色を選び、水を加えてジュース作り。コップに入れるときにいろいろなジュースを混ぜて、自分のミックスジュースを作り、「なんかこれ、ココアみたい」「これはビリビリジュース」と完成を喜び、見立てて楽しんでいます。また、コップいっぱいこぼれるギリギリまで入れて、「見て！こぼれない」「うわあ、プルプルする～」と表面張力にも気づき、不思議さを感じながら楽しんでいる姿もありました。



～お気に入りの色を作ろう！～

またパレットに直接自分の好きな絵の具を出し、筆を使って自由に色を作っていきます。「たくさんの色を混ぜるのでは…」という予想もしましたが、子どもたちは2、3色を選び、じっくり混ぜ合わせて、変化を感じていました。そして出来上がった色を見て「これ黒い。トンネルだ」「赤と白混ぜたらピンクになった」と話をしたり、「次はこれとこれと混ぜてみようかな？」と出来上がりがどんな色になるか想像したりして、絵の具遊びを楽しんでいます。

まだ経験の少ない子どもたちはどんな色が完成するか、楽しみながら絵の具に触れています。子どもたちにとって色の変化は「お～、スゴイ！」と発見の連続です。こういう経験を繰り返すことで、描いたり作ったりする面白さを味わったり、豊かな感性へと繋がっていくのでしょうか。すでにある大人の感性を押し付けず、純粋な気持ちを大切に、見守っているところです。

